

# 城郭探訪

まちづくりと城の址

## 山口市 大内氏館・高嶺城

### 「大内文化」の特性を生かした まちづくり

#### 本州西端の県庁所在都市

山口市は、本州西端にある山口県の中央にあります。市域面積は平成の合併により拡大し、1023・31km<sup>2</sup>と広大で、約19万人が暮らしています。今の市域は、旧国郡の単位では、2国(周防国、長門国)、3郡(吉敷郡・佐波郡・阿武郡)に広がり、三つの水系(樫野川・佐波川・阿武川)を含んでおり、多彩な自然と多様な文化を有しています。

#### 大内氏の特質とその文化の魅力

山口の基盤を築いた大内氏は「多々良」の本姓を称した有力氏族です。自ら作成した系図では、わが国に仏教を伝えた百済国の聖明王(聖王)の皇子をルーツとしています。奈良・平安時代に周防国衛の在庁官人として頭角を現し、鎌倉時代には幕府の御家人となります。大内氏は、室町時代に周防国と長門国の守護となり、本拠を山口に定

めます。以後、約200年間、山口を本拠として西中国から九州北部一帯を領有しました。

山口には、日本三名塔の一つとされる国宝の瑠璃光寺五重塔をはじめ、大内氏が建立に関わった国指定の文化財建造物が10棟も現存しています。また、日本城郭協会の



瑠璃光寺五重塔

山口市長(山口県)

伊藤和貴



続日本100名城に選定された「大内氏館・高嶺城」をはじめとする大内氏ゆかりの史跡も各所にあります。

大内氏館は、最大で200m四方の規模を誇る当主の邸宅です。館は、室町將軍の邸宅に倣って、周囲が築地塀や堀などで囲われ、内部(殿中)には当主の居室である



大内氏館と高嶺城



史跡整備地における蹴鞠の実演



高嶺城の石垣

「常御座所」や「会所」などの多くの施設とともに、復元公開している池泉庭園や枯山水庭園といった庭も多く築かれていました。高嶺城は、大内氏の最末期に築かれ始めた山城です。大内氏滅亡後は毛利氏の支城として修築、使用されましたが、一国一城令で廃城となりました。

大内氏は、山口の地勢をうまく利用して館の周囲に街路を敷設し、いわば領国の首都として、都市的な空間を整備しました。その繁栄ぶりを、山口を訪れた宣教師フランシスコ・サビエルは、書簡の中で「日本でもっとも有名な町」「日本(で最強)の領主がいる地」と記しています。当時の街路の多く

が今日まで踏襲され、その上に多くの歴史事象が積み重ねられています。

### 「まちづくりのキーワード」 「大内文化」

大内氏は、日本列島にとどまらず、広く東アジア世界と交流を行って新しい文化を吸収し、多様な人々を受け入れ、後に「大内文化」と呼ばれる独自の文化を育みました。

この「大内文化」の根底を流れると私たちが考える特性「進取の気風(先進性・先見性・寛容性・独自性・国際性)」は、今の山口に暮らす人にも息づいていると、私は考えていま

歴史探訪コラム

## 城と都市の でんせつ

江口知秀  
建設産業図書館 学芸員

### 銀山開山の瑞夢

山口市宮野上は、市中心街の北側の地域であり、その萩市との境を成す狼山の中腹には、慶長の頃(1596〜1615)に開山した一ノ坂銀山があった。この銀山の寿命は短く、すでに寛永期(1624〜44)には廃坑になっていったという。

天保12(1841)年に編纂された地誌『防長風土注進案』には、この銀山の開山伝説があるので紹介したい。

この銀山を開いて管理したのは、宇多川郡佐々並駅(萩市佐々並)より、山口の方へ1里ほど隔てた大道に「逆修」という大石があった。備後守はこの石が邪魔だと、数百年の間、人力を尽くしたが全くどうにもならない。諦めかけたところ、その夜、太陽

が懐に入る夢を見たため、これは夢告に違いないと、勇気を奮い起こして撤去作業を続行し、なんと多くの銀を掘り当てることができたという。

また、他の俗説では、ある年、身分の高い貴人が江戸住まいをしていた時、富士山に女性が登る夢を見た。さっそく、陰陽師を呼んで夢占を行ってみたところ、その年齢はいくつくらいかと言われた。そこで、若かったと答えると、陰陽師はこの夢は瑞兆でお国にまれな吉事があるに違いないが、惜しいことに老女ならば、より長く栄えたでしょう、と言う。

ほどなくして、その貴人は帰郷したが、その途中の一ノ坂で鉱脈が見つかったという知らせが入った。しかし、夢に見た女性の年齢ほどの年月がたつと、鉱脈は尽きてしまったという。

す。本市では、従来の貴重な歴史と文化を守りつつ、新しいヒトやモノとの融合を図りながら、創造的な独自の文化を生み出す「大内文化まちづくり」を積極的に進めています。

昨年の1月に、山口市が米ニューヨーク・タイムズ紙の特集「2024年に行くべき52カ所」の3番目に選ばれ、また11月に世



大内御膳(前室町將軍への饗応料理)の再現

歴史と文化を大切に継承しつつ新たな文化を育み、山口市の魅力を一層高めてまいりたいと考えております。

世界の優れた観光都市に与えられる「スイス観光賞」(文化遺産部門)を受賞することができましたことは、これまでの取り組みが評価された結果と受け止めています。今後とも地域の